

## [資料] 埼玉県さいたま市に残る 1923 年関東地震に関する石碑

栄東高等学校\* 石黒 喬大・荒井 賢一・西山 享佑・安倍 聡志・平原 優美・増田 滉己

浜橋 一徳・齋藤 隆・木村 円香

### The Memorial Stones of the 1923 Kanto Earthquake in Saitama City, Saitama Prefecture

Takahiro ISHIGURO, Ken'ichi ARAI, Kyosuke NISHIYAMA, Satoshi ABE, Yumi HIRAHARA, Kouki MASUDA,

Kazunori HAMAHASHI, Takashi SAITO, Madoka KIMURA

Sakae-Higashi High School

2-77, Suna-cho, Minuma-ku, Saitama City, Saitama 337-0054, Japan

We conducted the survey of the memorial stones of the 1923 Kanto Earthquake built in Saitama City. Detailed information about damage by the Earthquake is described on the memorial stones of the Hikawa shrine (Minuma-ku), the Jousenji temple, the Daikouji temple, the Kawadouri Elementary School, the Ryuumonji temple, the Shoufukuji temple, the Shinmei shrine and of the Sui shrine. We also noticed contribution for rebuilding written on the stones.

Keywords: Saitama City, the 1923 Kanto Earthquake, Memorial Stone

#### §1. はじめに

1923(大正 12)年 9 月 1 日午前 11 時 58 分に発生した関東地震は、揺れによる建物の倒潰、火災、津波により、未曾有の大災害となった。10 万人を超える犠牲者を出し、東京都と神奈川県での被害が特に大きかった。神社や寺院、公園等に、地震の発生や被害の様子を記述した碑が建てられており、調査が進められてきた。

力武(1996)は、東京都千代田区、台東区、荒川区の公園内や寺院等に建てられた関東地震の石碑を紹介している。武村(2012)には、被害の最も大きかった東京都墨田区をはじめとして、23 区内に建つ碑がくまなく紹介されている。その中には、犠牲者の慰霊碑だけでなく、避難できたことへの感謝の意を示す碑や、復興に関して記された碑も多く存在する。

神奈川県内に建てられている碑については、武村(2010, 2011, 2013)に、それぞれまとめられている。武村(2010)は、街中に建つ慰霊碑に秘められた震災体験者達の気持ちを共有することも防災には不可欠であるという視点で、平塚市内の寺社や公園、工場の敷地内に建つ慰霊碑を巡礼した。震災体験者達が碑に

込めた思いを市民に伝えていくことから、日ごろの防災意識の向上につなげることを目的としている。同様の目的で、武村(2011)は、秦野市内に建てられた供養塔や災害からの復興に関する碑、地震によって形成された震生湖について記述している。また、武村(2013)では、前述の平塚市に隣接する茅ヶ崎市と寒川町について、地震による被害や震災からの復興について記された碑を調査している。

埼玉県内では、1923 年関東地震によって犠牲者 316 人、建物の全潰数 9268 棟の被害が生じた(宇佐美(2011))。力武(1999)は、埼玉県内の寺社に建つ 1855 年安政江戸地震や 1923 年関東地震の被害に関して記された碑を紹介している。武村・諸井(2002)は、地質調査所の被害報告書を基に、埼玉県内の木造家屋の全潰数や半潰数をデータベース化し、旧村毎の震度の推定を試みた。

本論文では、著者の所属校(栄東中学・高等学校)が位置する埼玉県さいたま市における 1923 年関東地震に関する石碑を紹介する。さいたま市は、2001(平成 13)年に浦和市、大宮市、与野市が、次いで 2005(平成 17)年に岩槻市が合併してできた市である。

\* 〒337-0054 埼玉県さいたま市見沼区砂町 2-77  
電子メール: rikaken\_sh@yahoo.co.jp

## §2. 調査方法

はじめに、2012(平成 24)年 9 月に、元東京大学地震研究所の羽鳥徳太郎氏から得た情報を基に、水神社(旧浦和市)を訪れ、石碑の調査をおこなった。

次に、さいたま市内に建てられている石造物を網羅するため、それぞれ(旧大宮, 旧岩槻, 旧与野, 旧浦和)の発行している市史を調べた。下記が引用した文献である。

- ・『大宮の教育史調査外報(Ⅱ), 大宮の石造物(1) 東部地域編』(大宮市教育委員会, 1990)
- ・『大宮の教育史調査外報(Ⅲ), 大宮の石造物(2) 西部地域編』(大宮市教育委員会, 1991)
- ・『岩槻市史 金石史料編Ⅱ 近世, 近代, 現代史料』(関根龍之, 1984)
- ・『与野市史 近代史料編』(白鳥三郎, 1981)
- ・『石の文化財 浦和の石造物』(浦和市教育委員会, 1996)

地震が発生した 1923(大正 12)年 9 月 1 日以降に建立された石碑で、これらの文献中に以下のような記載があるものについて、現地に赴き調査をした。

① 記載されている碑文の文章中に、「地震」に関する

記述が含まれているもの

② 「地震」や「震災」といった①のような記述は無いものの、「本堂再建」や「本堂修繕」などの記述があるもの

この文献調査によって、前述の水神社も確認することができた。現地調査は 2013(平成 25)年 5 月～2014(平成 26)年 4 月の間に行った。その後、さらに文献調査や聞き取り調査を進めた。本論文では、1923 年関東地震に関係すると判断できる石碑、および関係する可能性を有する石碑を紹介する。

また、個人の墓であるため上記の文献調査では見つけることができなかったが、関東大震災六十周年朝鮮人犠牲者調査追悼事業実行委員会(1974)で得た情報を基に、2013(平成 25)年 3 月に常泉寺(旧大宮市)を訪れた。その結果、この文献に記載されていた「朝鮮人姜大興墓」が建てられており、1923 年関東地震に関する記述を確認できた。

前述の力武(1999)には、さいたま市内の 2 か所の寺院(龍門寺, 正福寺)に建つ 1923 年関東地震に関する碑も紹介されている。本研究ではこの 2 か所についても、2014(平成 26)年 4 月に現地調査を実施した。

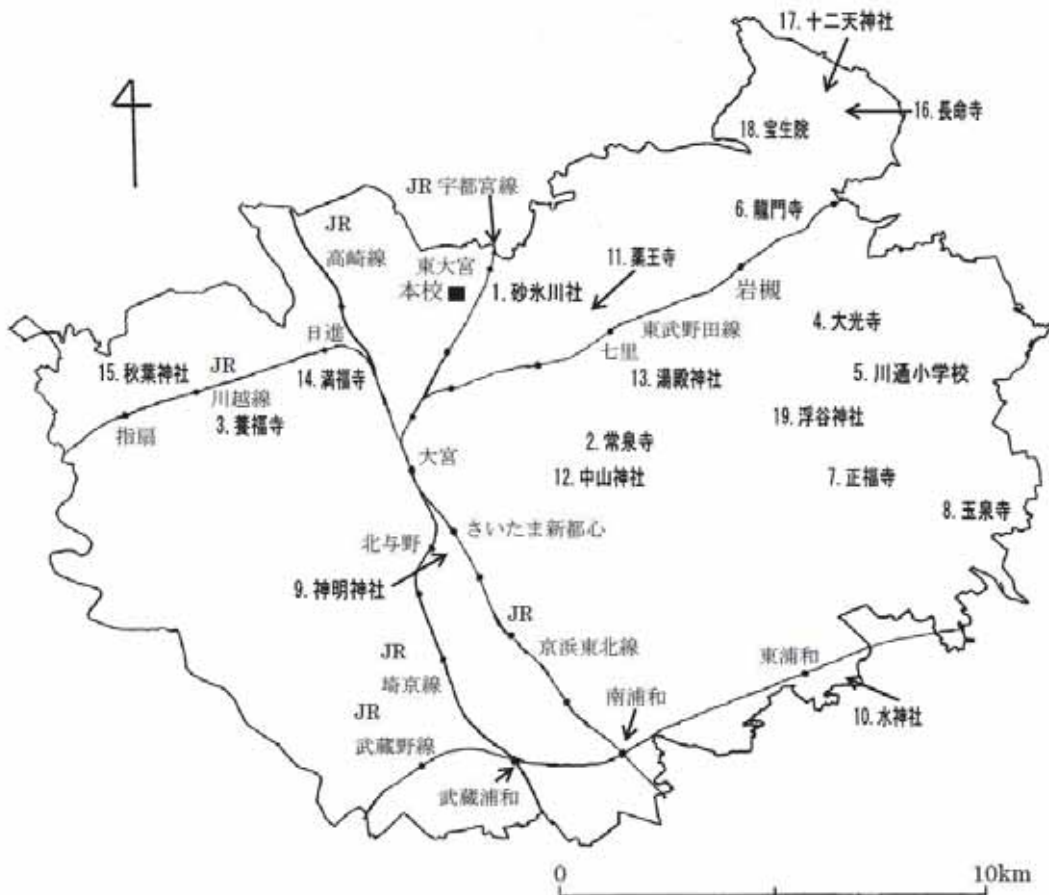


図 1 埼玉県さいたま市内の調査地点の地図

Fig.1 Map of locations of the surveyed points in Saitama City, Saitama Prefecture.

### §3. さいたま市内に残る石碑の調査結果

現地調査とその後の文献調査、聞き取り調査の結果、1923 年関東地震に関係すると判断できる石碑が 10 か所に建てられていた(3-1 に記述)。また、関係する可能性を有する石碑は 9 か所に建てられていた(3-2 に記述)。これらの位置を図 1 に示す。本章では、現地で読み取った石碑の碑文をそのまま書く事を心がけており、筆者が必要と判断した箇所については解説文を付す。また、改行される部分には、／を挿入する。なお、異体字については最も似ている字体に、俗字については元の字に直した箇所がある。■はパソコンで出なかった文字で、その右側の( )内に説明を付す。□は風化や書体の影響で、判読できなかった字である。碑文は、いずれも縦書きであったが、紙面の都合により横書きにする。また、寄付者連名については個人名を省略したうえで表にまとめ、その前後に記されていた碑文は、石碑と対応するよう表の上下に記す。

#### 3-1. 1923 年関東地震に関係する石碑

##### (1) 砂氷川社(旧大宮市・旧大砂土村)

【現住所：見沼区東大宮 7-36-11】

旧大宮市には、氷川神社が複数存在するが、この神社は JR 宇都宮線の東大宮駅の東口から徒歩で行くことができる。神社の鳥居付近、本殿に向かって右側に、円柱状の石碑(図 2)が建てられている。

##### (正面)碑文

大正十二年九月一日午前十一時五十八分相模湾ヲ震源トシテ関東地方ニ大地震起リ火災之ニ伴ヒ帝都横濱等大半ノ焦土ト化シ有史未曾有ノ大災害ヲ齎ラシメリ當地方ハ幸ノニシテ震動稍弱ク倒潰家屋等ヲ見ルニ至ラサリシモ本社ノ石鳥居幟框ハ為メニ倒覆破損ノ厄ニ遇フ茲ニ於テ氏子相ノ謀リ幟ト共ニ之ガ修理再建ヲナシ尚破壊セル石鳥居ノ一部ヲ利用シテ碑トナシ文ヲ刻シテ記念トナスノ大正十三年 四月氏子中ノ村社氷川社社掌細井一郎謹誌

この碑文は、次のように解読できる。

大正十二年九月一日午前十一時五十八分相模湾を震源として関東地方に大地震が起こり、これに伴って火災が起こり、東京、横浜などの大半を焦土と化す、記録上未だかつてない大災害をもたらした。当地方は幸いにも震動は小さく、倒潰した家屋は見られなかったが、本社の石鳥居、のぼり、かまちは倒潰や破損の厄にあった。そこで氏子は相談し、のぼりと共に鳥居を修理再建し、壊れた鳥居の一部を使って碑にして文字を刻んで記念にした。

##### (裏面)碑文

昭和五十六年四月吉日再建



図 2 砂氷川社(見沼区)に建てられている石碑  
Fig.2 The monument in the Suna-Hikawa shrine.

##### (2) 常泉寺(旧大宮市・旧片柳村)

【現住所：見沼区染谷 3 丁目 242】

関東大震災五十周年朝鮮人犠牲者調査追悼事業実行委員会(1974)に記載されていた墓は、本堂を背にして左隅の奥に建てられている。墓石の前には、比較的最近建てられた黒色の石碑があった。また、墓石の右横には卒塔婆が 4 本立っていた。

(墓石正面)碑文  
朝鮮人姜大興墓

(墓石左面)碑文  
大正十二年九月四日ノ空朝露如幻禪定門位ノ関東地方大震災ノ節当字ニ於テ死亡ノ施主 染谷 一般

(石碑正面)碑文  
追悼ノ関東大震災ノ忽然失ニ命ニ難ノ爲ニ受災精霊ニノ謹香華燈燭ノ供以伸供養ノ平成十三年十二月吉日ノ当山第三十世大英元一合掌

この碑文は次のように解読できる。  
関東地震は忽然と命を奪う災いだった。この災いを受けた霊のため、お供えの香と花や灯火を謹んで供えることで供養することを述べます。

(3 本の卒塔婆に記載されていたこと)  
大圓鏡智経日 三界唯一心 心外無別法 爲朝露如幻禪定門善堤追善供養塔 施主 日朝協会 埼玉県連合会

卒塔婆の 1 本には、図 3(4 本並んでいるうちの右端)のようにハンゲル文字が記されており、「朝鮮人虐殺の真実究明を止めない」と解読できる。

1923 年関東地震が発生した際、朝鮮人が井戸に

毒を流した等の流言蜚語が飛び交い、それを信じた民衆が朝鮮人を虐殺するという事件が起こった。関東大震災六十周年朝鮮人犠牲者調査追悼事業実行委員会(1987)によると、このような事件は埼玉県でも発生し、約 240 人が犠牲となったとされている。

馬橋(1985)によると、1923(大正 12)年 9 月 4 日に旧片柳村で、朝鮮人姜大興が自警団によって殺害された。事件に対して自責の念にかられた村人たちが、後への教訓のために、この石碑(墓)を作って手厚く葬ったことが記載されている。



図 3 常泉寺に建てられている墓(左), および卒塔婆の 1 つに記載されているハングル文字(右)  
Fig.3 The grave and hangul alphabet written in the stupa in the Jousenji temple.

### (3) 養福寺(旧大宮市・旧三橋村)

【現住所：西区三橋 6-535】

大宮市教育委員会(1991)によると、養福寺には 1925(大正 14)年に「本堂改築記念碑」が建てられている。1923 年関東地震に関する語句は記されていないが、さいたま市(2005)に、養福寺の由緒として、「大正十三年十二月十六日震災本堂改築出願許可、大正十四年十一月十五日竣工」と記載されている。よってこの石碑は、1923 年関東地震によって被害を受けた本堂を改築する旨を記したものと考えられる。



図 4 養福寺の境内にビニールシートで覆われた状態で保管されていた石碑  
Fig.4 The monument covered with seat in the Youfukuji temple.

2014(平成 26)年 4 月に現地を訪れたところ、石碑は同じ敷地内で移設されるため、境内入ってすぐの本堂向かって右隅にシートをかけて、裏面を上に向けて横にして保管されていた。お寺の方のご協力により、ビニールシートを外せるところまで見せて頂き、裏面に記されている文字の一部「大正十四年竣...」を確認できた。

2014(平成 26)年 4 月に現地を訪れたところ、石碑は同じ敷地内で移設されるため、境内入ってすぐの本堂向かって右隅にシートをかけて、裏面を上に向けて横にして保管されていた。お寺の方のご協力により、ビニールシートを外せるところまで見せて頂き、裏面に記されている文字の一部「大正十四年竣...」を確認できた。

### (4) 大光寺(旧岩槻市・旧川通村)

【現住所：岩槻区長宮 1101】

境内に、地震のことが明記された 2 基の石碑を確認できた。1つは「本堂再建銘」で、本堂のすぐ近く(本堂に向かって左側)に建てられている。もう1つは「大光寺客殿庫裡再建碑」で、山門をくぐって少し進んだ、本堂に向かって左側に建てられている。

「本堂再建銘」  
(正面上段)碑文  
本堂再建銘

(正面下段)碑文

抑モ當花林山廻向院大光寺ハ天文年間祐真上人中興以來四百有餘年ノ間二十有餘世連聯トシテ相續セリ往古ハ大祿ヲ有シ輪■(へん:車, つくり:奘と記されていたが、本来は「煥」と思われる)實ニ美ヲ極メノ四隣稀ニ視ル圖山ナリシカ月變リ星移リ数度ノ盛衰ヲ經テ殿宇ヲ護持ノシ來レリ然ルニ明治ノ改革ニ逢ヒ寺領悉ク上地セラレタルヲ辛フシテノ還附寺有二屬シ漸ク維持ノ方法ヲ樹ツルニ至リ法燈以テ瞭然タルモノアリシカ時恰モ大正十二年九月一日午刻俄然関東一帯大地震トナリ家ノ屋ノ損害人畜ノ死傷繁多ニシテ枚舉ニ違アラス其悲惨ナルコト到底筆ノ舌ノ盡ス所ニ非ス爲メニ我カ大光寺モ其厄ニ罹リ本堂ハ勿論倒潰粉壘ノシ忽チ昔日ノ觀ヲ失ヒ庫裡亦大破損ノ難ニ遇ヘリ茲ニ現住隆學ノ發願ノニ共鳴シ檀中擧ツテ本堂再建ニ全カヲ濺キ巨多ノ喜捨ヲ以テ遂ニ大正ノ十三年十二月廿九日ニ端ヲ發シ昭和三年十一月廿三日上棟式ヲ舉行シノ同四年六月廿三日完成セリ誠ニ祖先崇拜ノ信念歷然トシテ明カナリ今ノヤ昭和五庚午ノ年四月辨慶笈佛十一面觀世音開扉ニ際シ碑ヲ建設シ永ノ久ノ記念トス 昭和五年四月十六日大光寺二十八世 隆學撰書

この碑文は、次のように解読できる。

この花林山廻向院大光寺は、天文年間に祐真上人が起こして以来四百年余りの間に二十数代にわたっ

て相続されている。昔は多くの禄高を有し、輪奂で美を極めこの辺りでは稀な工夫された寺であった。月が変わり年月が移り幾度かの盛衰を経て寺を守ってきたが、明治の改革(神仏分離令にともなう廃仏毀釈)によって寺領は全て没収されたが、辛うじて還付されて大光寺の所有となり、ようやく寺の経営を維持する方法を確立するに至った。法灯(釈迦の教え)によって瞭然としてきたものがあるときにちょうど、大正十二年九月一日の正午、突然関東一帯で大地震が発生して家屋が被災し、人、家畜が多く死傷し一々数える暇もなかった。その悲惨さは到底書き表せないものだった。我が大光寺もその厄を被り、本堂は勿論倒潰粉砕し、昔の面影を失った。庫裡もまた、かなり破損するという災いにあった。ここに現住職の隆学の発願に賛同し、檀家中を挙げて本堂の再建に全力を注ぎ、多くの寺への寄付によってついに大正十三年十二月二十九日に始まり昭和三年十一月二十三日上棟式を挙行し、同四年六月二十三日に完成した。実に、祖先を崇拝する信念は歴然として明らかだ。今は昭和五年庚午の年の四月、弁慶笈仏十一面観世音開扉の式に際して碑を建設して永久の記念とする。昭和五年四月十六日大光寺二十八世隆学選書

(裏面) 寄附者連名

寄附者の氏名、居住地と思われる地名、寄進内容が10段にわたって記されている。金額については、「金」「円」を省略する。例えば、「金三百五十円」は「三百五十」と記述する。総額 12,175 円、寄附者人数 304 人、平均寄付額 40 円、その他 38 人である。

※2

| 見出し  | 寄進内容 | 人数    | 見出し                 | 寄進内容 | 人数 |
|------|------|-------|---------------------|------|----|
| 長宮檀中 | 三百五十 | 2     |                     | 十一   | 1  |
|      | 二百三十 | 1     |                     | 十    | 1  |
|      | 貳百   | 2     |                     | 九    | 1  |
|      | 百七十  | 1     |                     | 八    | 1  |
|      | 百三十  | 3     |                     | 七    | 5  |
|      | 百    | 2     |                     | 六    | 1  |
|      | 七十   | 1     |                     | 五    | 4  |
|      | 六十   | 1     |                     | 七    | 1  |
|      | 五十五  | 1     |                     | 五    | 7  |
|      | 五十   | 1     | 増田檀中                | 四十七  | 1  |
|      | 四十五  | 6     |                     | 二十五  | 1  |
|      | 四十   | 1     |                     | 十四   | 2  |
|      | 三十五  | 7     | 蛭田檀中                | 百五十  | 1  |
|      | 三十   | 6     |                     | 七十五  | 2  |
|      | 二十   | 1     |                     | 二十三  | 1  |
|      | 千    | 1     |                     | 十二   | 1  |
|      | 二千   | 1     |                     | 九    | 2  |
|      | 二十五  | 10    |                     | 八    | 1  |
|      |      |       | ■(「前」のかんむりの部分) 大増檀中 | 四十二  | 1  |
|      |      |       |                     | 二十五  | 1  |
|      |      |       | 十八                  | 1    |    |
|      |      |       | 十七                  | 1    |    |
|      |      |       | 十三                  | 2    |    |
|      |      |       | 十一                  | 1    |    |
|      |      |       | 十                   | 2    |    |
|      |      |       | 六                   | 1    |    |
|      |      | 下大増檀中 | 四十二                 | 1    |    |
|      |      |       | 十七                  | 1    |    |
| 増長檀中 | 三十五  | 4     |                     | 二十一  | 1  |

※1 へ続く

※3 へ続く

※1

| 見出し  | 寄進内容 | 人数 |
|------|------|----|
|      | 二十   | 4  |
|      | 十二   | 3  |
|      | 十    | 2  |
|      | 七    | 13 |
|      | 六    | 2  |
|      | 四    | 2  |
|      | 三    | 5  |
|      | 二    | 1  |
| 大口檀中 | 五十五  | 1  |
|      | 四十五  | 4  |
|      | 三十五  | 2  |
|      | 三十   | 2  |
|      | 二十五  | 1  |
|      | 二十   | 1  |
|      | 十七   | 2  |
|      | 十二   | 8  |
|      | 十    | 1  |
| 大谷檀中 | 三十六  | 1  |
|      | 三十   | 1  |
|      | 二十一  | 3  |
|      | 二十   | 1  |
| 大戸   | 三    | 1  |
|      | 十五   | 3  |
|      | 十    | 4  |
|      | 八    | 1  |
|      | 七    | 4  |
|      | 五    | 5  |
|      | 四    | 1  |
|      | 一    | 1  |
| 大戸檀中 | 三十五  | 1  |
|      | 三十   | 1  |
|      | 二十   | 1  |
|      | 十三   | 1  |
|      | 十一   | 4  |
|      | 九    | 1  |
|      | 一    | 1  |
|      | 五    | 1  |
| 道口檀中 | 百二十  | 2  |
|      | 七十   | 1  |
|      | 五十   | 1  |
| 増富檀中 | 百十   | 1  |
|      | 六十   | 1  |
|      | 三十五  | 1  |
|      | 三十三  | 1  |
|      | 二十八  | 1  |
|      | 二十五  | 1  |
|      | 二十四  | 1  |
|      | 二十二  | 1  |
|      | 二十一  | 1  |
|      | 二十   | 3  |
|      | 十八   | 1  |
|      | 十六   | 1  |
|      | 十四   | 1  |

※3

| 見出し     | 寄進内容 | 人数 |
|---------|------|----|
|         | 八    | 1  |
|         | 七    | 1  |
|         | 十    | 1  |
| 増戸檀中    | 十    | 1  |
| 岩槻檀中    | 二百   | 1  |
|         | 百    | 1  |
|         | 六十   | 1  |
|         | 五十   | 1  |
|         | 二十五  | 3  |
|         | 二十   | 2  |
|         | 十五   | 2  |
|         | 十    | 2  |
|         | 五    | 1  |
| 真福寺檀中   | 五十   | 1  |
| 浮谷檀中    | 二十五  | 2  |
| 村國檀中    | 二百   | 1  |
|         | 二十   | 1  |
| 粕壁檀中    | 五十   | 1  |
|         | 五    | 1  |
| 東京檀中    | 五十   | 2  |
|         | 五    | 1  |
|         | 三    | 1  |
| 東京方面特志者 | 百    | 3  |
|         | 六十   | 1  |
|         | 五十   | 2  |
|         | 三十   | 6  |
|         | 二十五  | 3  |
|         | 十五   | 1  |
|         | 十    | 4  |
| 地方特志者   | 二百   | 1  |
|         | 百    | 1  |
|         | 三十   | 1  |
|         | 十五   | 3  |
|         | 十    | 2  |
|         | 五    | 5  |
|         | 十    | 3  |
|         | 五    | 1  |
|         | 十    | 1  |
| 檀中惣代    |      |    |
|         | 長宮   | 11 |
|         | 増長   | 3  |
|         | 大口   | 3  |
|         | 大谷   | 4  |
|         | 大戸   | 2  |
|         | 村國   | 1  |
|         | 岩槻   | 2  |
|         | 蛭田   | 1  |
|         | 道口   | 2  |
|         | 上大増  | 2  |
|         | 下大増  | 2  |
|         | 増田   | 1  |
|         | 増富   | 3  |
|         | 岩槻   | 1  |

※2 へ続く



図 5-1 大光寺に建てられている「本堂再建銘」  
Fig.5-1 The monument 'Hondou Saiken' in the Daikouji temple.

「大光寺客殿庫裡再建碑」

(正面上段) 碑文

大光寺客殿庫裡再建碑／當山十八世天賢正人の代文化二年に建築し／たる旧庫裡は大正十二年関東大震災に遭遇し／大破す先代隆学僧正は大改修を加え軽うじて／今日まで維持し来れり／時恰も本年午の歳辨慶笈佛守本尊十一面／觀音菩薩の開扉にあたり祖先崇敬の念／厚き檀信徒の総意により改築完成を見るに／至る依って此の偉業を永く後世に傳え記念とす／昭和四十一年四月吉日／大光寺第二十九世／少僧正隆寶謹誌

この碑文は次のように解説できる。

この寺の十八世天賢正人の代で文化二年に建築された旧庫裡は、大正十二年に関東大震災にあつて大破した。先代の隆学僧正が大改修を加え辛うじて今日まで維持している。時はちょうど本年(午の年)で、弁慶笈仏守本尊十一面觀世音菩薩の開扉にあたり、祖先崇敬の念の厚い檀家信徒の総意により改築、完成を見るに至る。よって、この偉業を永く後世に伝え記念とする。昭和四十一年吉日大光寺第二十九世 少僧正隆寶謹誌

(正面下段) 寄附者連名

寄附者の氏名、居住地と思われる地名、寄進内容が6段にわたって記されていた。金額については、「一」「金」「円」「也」を省略する。例えば、「一金六万円也」は「六万」と略記する。総額8,926,400円、寄附者人数340人、平均寄附額26,254円、その他19人である。

※5

| 見出し    | 寄進内容   | 人数       | 見出し  | 寄進内容    | 人数   |    |
|--------|--------|----------|------|---------|------|----|
| 長宮檀中   | 六万     | 1        | 大口檀中 | 八千      | 22   |    |
|        | 五万五千   | 1        |      | 三千      | 1    |    |
|        | 五万     | 9        |      | 大谷檀中    | 八千   | 24 |
|        | 四万一千   | 1        |      | 五千      | 1    |    |
|        | 四万     | 9        |      | 三千      | 1    |    |
|        | 三万六千   | 1        |      | 大戸檀中    | 八千   | 13 |
|        | 三万五千   | 2        |      | 大宮檀中    | 二万   | 3  |
|        | 三万四千   | 1        |      | 上下大増檀中  | 一万五千 | 2  |
|        | 三万三千   | 2        |      | 一万      | 1    |    |
|        | 三万二千   | 1        |      | 七千      | 6    |    |
|        | 三万一千   | 2        |      | 二万      | 2    |    |
|        | 三万     | 1        |      | 一万三千四百  | 5    |    |
|        | 二万七千五百 | 1        |      | 増田檀中    | 二万五千 | 1  |
|        | 二万七千   | 1        |      | 一万二千五百  | 2    |    |
|        | 二万六千   | 1        |      | 一万      | 1    |    |
|        | 二万五千五百 | 3        |      | 村国檀中    | 一万五千 | 1  |
|        | 二万四千五百 | 1        |      | 一万      | 1    |    |
|        | 二万四千   | 2        |      | 五千      | 1    |    |
|        | 二万三千   | 1        |      | 春日部檀中   | 二万   | 1  |
|        | 二万二千五百 | 1        |      | 浮谷真福寺檀中 | 一万   | 2  |
| 二万二千   | 2      | 八千       | 1    |         |      |    |
| 二万一千   | 4      | 増戸高曾根    | 五千   | 3       |      |    |
| 二万     | 3      | 大沢       | 二万五千 | 1       |      |    |
| 一万九千五百 | 2      | 長宮       | 三千   | 1       |      |    |
| 一万九千   | 3      | 開帳記念品奉納者 |      |         |      |    |
| 一万八千五百 | 2      | 神代杉食卓二   | 1    |         |      |    |
| 一万八千   | 2      | 電気時計三    | 1    |         |      |    |
| 一万七千五百 | 1      | 平鏡五      | 1    |         |      |    |
| 一万六千   | 2      | 応接室セット   | 1    |         |      |    |
| 一万四千五百 | 2      | 扇風器      | 3    |         |      |    |
| 一万三千五百 | 1      | 食卓二枚     | 1    |         |      |    |

※4 へ続く

※6 へ続く

※4

| 見出し    | 寄進内容 | 人数 |
|--------|------|----|
| 増富檀中   | 一万二千 | 1  |
|        | 一万五百 | 1  |
|        | 一万   | 1  |
|        | 三千   | 2  |
|        | 二千八百 | 1  |
|        | 二万   | 1  |
|        | 一万   | 20 |
|        | 八千   | 13 |
|        | 七千   | 1  |
|        | 五千   | 7  |
| 東京横浜檀中 | 十萬   | 1  |
|        | 五万   | 2  |
|        | 三万   | 1  |
|        | 二万   | 6  |
|        | 一万   | 2  |
|        | 五千   | 1  |
| 岩槻檀中   | 十萬   | 1  |
|        | 五万   | 1  |
|        | 三万   | 2  |
|        | 二万   | 3  |
|        | 一万五千 | 5  |
|        | 一万   | 7  |
|        | 五千   | 1  |
| 増長檀中   | 一万   | 4  |
|        | 八千   | 25 |
| 道口檀中   | 一万二千 | 2  |
|        | 八千   | 2  |
|        | 六千   | 1  |
|        | 五千   | 1  |
| 蛭田檀中   | 八千二百 | 3  |
|        | 八千   | 5  |

※5 へ続く

※6

| 見出し | 寄進内容                          | 人数  |
|-----|-------------------------------|-----|
|     | 柱時計                           | 1   |
|     | 大鏡一枚                          | 1   |
|     | ロッカー                          | 1   |
|     | 座布団二十枚                        | 1   |
|     | 座布団廿枚                         | 1   |
|     | 照明器具                          | 1   |
|     | 紅白幕                           | 1   |
|     | 紋入幕                           | 1   |
|     | 高張灯提                          | 1   |
|     | 本堂用大座布団                       | 1   |
|     | 玄関前庭石                         | 1   |
|     | 花崗石燈■<br>(「火」へんに、<br>つくりは「竜」) | 1   |
|     | 特志奉納者名                        |     |
|     | 一万五千                          | 1   |
|     | 一万                            | 3   |
|     | 二万                            | 3   |
|     | 一万                            | 3   |
|     | 五千                            | 2   |
|     | 三万                            | 1   |
|     | 二万                            | 2   |
|     | 一万                            | 6   |
|     | 五千                            | 10  |
|     | 三千                            | 2   |
|     | 解体代表                          |     |
|     | 二万                            | 2人で |
|     | 一万                            | 1   |
|     | 五千                            | 6   |
|     | 三千                            | 2   |
|     | 二千                            | 4   |
|     | 二百万                           | 2   |
|     | 一万                            | 3   |

(裏面) 連名

開帳記念事業従員芳名(人名72名)



図 5-2 「大光寺客殿庫裡再建碑」

Fig.5-2 The monument 'Daikouji Kyakuden-Kuri Saiken'.

(5) 川通小学校(旧岩槻市・旧川通村)

【現住所：岩槻区大野島 422-1】

さいたま市立川通小学校の校舎に向かって左側のグラウンドの隅に、2基の石碑が並んで建っている。それらのうち、校舎側の1基(図6)に関東地震に関する記載があった。正面の石碑の名称は現地で見取れなかったが、関根(1984)には「徳教修四海」と記述されている。

(正面上段) 碑文

□□□□□

(正面下段) 碑文

埼玉縣知事 齋藤守圀題額ノ今茲大正十四年五月本村小學校ノ新築成ル本校ハ曩ニ大正四年新ニ建造セラレ同十二年ニ至ルマデ年ヲ經ルコト僅ニ九歳ノ間ニ於テ専ラ内外ノ整備充實ヲ圖リ一意國民教育ノ向上改善ノニ努メタルヲ以テ萬般ノ施設幾ンド闕クル所莫ク且ツ校舍建築費ノ一部借入金ノ如キモ既ニ其ノ償還ヲ了シタルヲ以テ當局竝ニ村民ハ稍ク其ノ意ヲ寧ンズルヲ得ルニ至レリ然ルニ圖ラノサリキ大正十二年九月一日前古未曾有ノ大震災ニ遭ヒ校舍ヲ首メ器具機械等幾多ノ設備累年ノノ經營一朝ニシテ悉ク残毀粉■(齋の旧字体と思われる)ノ厄ヲ蒙ル嗚呼天何ゾ本村ニ殃スルノ甚シキヤ爰ニ舉村一致ノ協カシテ復興ノ計畫ヲ樹テ之ヲ大正二十三兩年ノ繼續業トナシ十二年十一月築造ノ工ヲ起シ今年五月其ノ竣ヲ告グ抑斯ノ工事ヲ就スニ當リ之ニ要スル經費頗ル多大ニシテ之ガ負擔ノハ震災被害村民ノ能ク任フル所ニ非ズ偶ノ皇室御下賜ノ建築用材頒與ノ恩命ヲ辱ウス乃チ謹ミテ聖旨ヲ奉戴シ一般特志ト本校出身者トノ寄納ヲ仰ギ之ニ加フルニ政府低利資金ノ借入ヲ以テシテ之ガ用ニ充ツ蓋シ彼ノ非常ノ慘禍ノニ遭遇シ闔村ノ被害モ亦太ダ輕カラザルノ時ニ於テ能ク此ノ校舍新築ノ業ヲ成スヲ得タリ昭ノ代ノ惠澤誰カ敢テ感激奮勵 セザランヤ仍テ茲ニ之ガ事歴ヲ記シ貞珉ニ勒シテ以テ後年ニ傳フノ大正十四年五月 埼玉縣南埼玉郡長岡利和撰文ノ埼玉縣立粕壁中學校教諭關根作次朗書

この碑文は次のように解説できる。

埼玉県知事 齋藤守圀題額 今年大正十四年五月、この村の小学校のの新築された本校は、かつて大正四年に建造され、同十二年になるまで時がたつことわずか九年の間で、集中して内外の設備の充実を図り、一億国民の教育の向上改善に努めてきた。よって、一般の施設はほとんど欠けるところがなく、また、校舍建築費の一部借入金のようなものもすでに償還し終わり、当局並びに村民はようやく願っていた思いを得るに至った。ところが、予期していなかった大正十二年の九月一日、昔からまだ一度も例がない大震災に遭い校舎をはじめ器具、機械等多くの設備や累年の経営がたちまちにしてことごとく損なわれ、粉碎される厄を被った。嗚呼天よ、この村にもたらした災はなんと甚だしいのだろうか。ここに本村は一致協力して復興の計画を立て、これを大正十二、十三年兩年の繼續事業として、十二年十一月に築造の工事を始め、今年の五月に終わりを告げた。そもそもこの工事を仕上げるに当たり、これに必要とする経費があまりにも多大で、この負担を震災の被害にあった村民に任せることはできなかった。偶然にも皇室より下賜された建築用材の分

与の恩恵をいただいた。謹んで皇室の旨をいただき、一般の篤志と本校出身者に寄付を仰ぎ、それに加えて政府低利資金の借入を合わせ、これを工事費にあてがった。あのとてつもない惨禍にあい、どうしてこの村の被害もまた甚だ軽かっただろうか、いや軽くない。その時において、よくぞこの校舎を新築するという事業を成した昭代の惠澤に、誰が感動しないだろうかいや感動せずにはいられない。よって、ここにこの経歴を記し美しい石に正しく刻むことで後年に伝える。

(裏面) 寄附者連名

寄附者の氏名、居住地と思われる地名、寄進内容が4段にわたって記されていた。金額については、「金」「圓」を省略する。例えば、「金五百円」は「五百」と記述する。総額 5,220 円、寄附者人数 87 人、平均寄附額 60 円、その他 42 人である。

小學校々舎建築費寄附者

| 見出し | 寄進内容                      | 人数 | 見出し         | 寄進内容 | 人数 |
|-----|---------------------------|----|-------------|------|----|
| 東京  | 五百                        | 1  |             | 九拾   | 1  |
|     | 参百                        | 3  |             | 四拾   | 1  |
|     | 貳百                        | 2  | 大宮町         | 五拾   | 1  |
|     | 壹百                        | 3  |             | 参拾   | 1  |
|     | 五拾                        | 13 |             | 貳拾   | 2  |
|     | 参拾                        | 3  |             | 五    | 1  |
|     | 貳拾                        | 3  | 高知縣         | 壹百   | 1  |
|     | 拾五                        | 2  | 北海道         | 参拾   | 1  |
|     | 拾                         | 4  | 豊春村         | 五拾   | 1  |
|     | 五                         | 4  |             | 拾五   | 1  |
|     | 水揚げポンプ<br>及水槽一式價<br>額金参百円 | 1  | 和土村         | 参拾   | 1  |
| 横濱  | 拾                         | 1  | 櫻井村         | 拾    | 1  |
| 岩槻町 | 壹百                        | 3  | 慈恩寺村        | 拾五   | 2  |
|     | 七拾                        | 1  |             | 五    | 3  |
|     | 六拾                        | 1  | 粕崎村         | 五拾   | 1  |
|     | 五拾                        | 8  | 正門寄附者       |      | 21 |
|     | 四拾五                       | 1  | 村會議員兼區<br>長 |      | 5  |
|     | 参拾                        | 5  | 村會議員        |      | 5  |
|     | 貳拾五                       | 4  | 區長          |      | 4  |
|     | 貳拾                        | 2  | 工事委員        |      | 5  |
|     | 拾                         | 2  | 校長          |      | 1  |
| 粕壁町 | 壹百五拾                      | 1  | 村長          |      | 1  |

石工 栗原竹之助 刻



図 6 市立川通小学校の校庭に建てられている碑  
Fig.6 The monument in Kawadouri Elementary School.

川通小学校開校百周年記念事業協賛会(1985)には、百年史として、「大正十四年：大震災で村民が困窮を極めていて、広く村外の有志に寄附を仰いで難事業であった」と記されている。また、初代 PTA 会長による回想として、「(川通小学校復興の際)川通出身の成功者や有力者の援助と併せて川通村内に土地所有する他町村地主諸氏の協力まで願い」と記されている。

### (6) 龍門寺(旧岩槻市・旧河合村)

【現住所：岩槻区日の出町 9】

山門をくぐって左側、本堂と反対側の敷地の隅に、大岡忠光公の墓(図 7-1)が建てられている。住職の方に案内して頂き、墓のすぐ近くに保管されている地震のことが刻印されている傘蓋(図 7-2)を見せて頂いた。刻印されている文章は次のように読み取れた(力武(1999)に記述されている文章を一部修正)。

大正十二年九月／大震災ノ際倒硅ノ昭和五年十二月復舊ノ大岡家及ノ外舊臣一同ノ昭和六年一月ノ紀念ノ為之ヲ記ス

これは次のように解説できる。

大正十二年九月の大震災の際に倒破し、昭和五年十二月に復旧した。大岡家及び他国の昔からの臣下一同が、昭和六年一月に紀念のためにこれを記した。



図 7-1 龍門寺の大岡忠光公の墓  
Fig.7-1 The grave of Ohoka Tadimitsu in the Ryuumonji temple.

住職の方から以下のようなお話を伺った。「墓は1923年関東地震で破損してしまい、修復をした。傘蓋(図 7-1 の a の部分)は新しいものに交換している。破損した方の笠蓋にはこの地震のことを刻印し、保管している(図 7-2)。また、図 7-1 の b の部分は、交換せずにそのまま再度取り付けた。」また、住職の方による

と、図 7-1 の b の部分に見られる横方向に入っている割れ目は、1923 年関東地震による破損した跡である。また、図 7-2 の傘蓋の右側面に見られる割れ目や左角の欠落部分も、地震による破損である。



図 7-2 墓の近くに保管されている破損した傘蓋  
Fig.7-2 The Kasabuta kept near the grave.

### (7) 正福寺(旧岩槻市・旧親和村)

【現住所：岩槻区尾ヶ崎新田 192】

正福寺は、国際興業バスの「尾ヶ崎」が最寄りのバス停である。関根(1984)と力武(1999)によると、境内に「追善碑」が建っているはずである。しかし、現地を訪れてみたところ、(2014(平成 26)年 4 月現在)区画整備のための大規模な工事中で、正福寺の建っているはずの付近一帯は更地となっていた。近隣の商店で訪ねてみたところ、勝軍寺で一時的に保管されていることを伺い、現地を訪れて「追善碑」を見つけるに至った。岩槻地方史研究会(1994)によると、正福寺は勝軍寺の末寺である。勝軍寺の住所は、岩槻区尾ヶ崎 1844 で、旧尾ヶ崎村に区分される。

石碑は勝軍寺の境内の裏庭に横にして保管されていたため、上を向いていた裏面のみを読み取ることができた。下を向いていて、見るができなかった石碑の正面には、力武(1999)によると、「(紋)追善碑 浅草寺大僧正栄海謹書」と記されている。裏面の碑文は、以下のように読み取れた(力武(1999)に記述されている碑文の文字を一部修正)。

(裏面)碑文

普照院釋妙聞大姉／常照院釋妙秋大姉／常光院釋智清童女／常樂院釋智秀童子／常行院釋智勇童子／大正十二年九月一日／大震火災之際於東京市／本所區被服廠跡岡野家／家族遭難ス茲ニ其ノ冥福ヲ／祈ランガ為是ヲ建立ス／大正十四年三月十日建之／東京市本所區相生町／建設者 岡野喜平次／施主 真々田馬之助／石工 田中忠次郎

この碑文は次のように解説できる。



普照院の釈妙という大姉 常照院の釈妙秋という大姉 常光院の釈智清という童女 常樂院の釈智秀という童子 常行院の釈智勇という童子 大正十二年九月一日大震災の際、東京市本所区の被服工場のあった場所において岡野家族が遭難した。ここにその冥福を祈るためこれを建立する。大正十四年三月十日 建立 東京市本所区相生町 建設者 岡野喜平次 施主 真々田馬之助

真々田家の方に電話でお話を伺ったところ、石碑の碑文には次のような経緯が秘められていることが分かった。  
「当時、旧岩槻市に住んでいた真々田家の者が、旧東京市にある岡野家へ奉公に行っていた。奉公先で関東大震災に遭い、岡野家の方は被災して亡くなってしまった。その冥福を祈って追善碑を建立した。」



図 8 勝軍寺の境内の裏庭に一時保管されている正福寺の「追善碑」

Fig.8 The monument 'Tsuisenhi' temporarily kept in the Shougunji temple.

### (8) 玉泉寺(旧岩槻市・旧新和村)

【現住所：岩槻区釣上 469】

境内にある墓地の中、本殿に向かって右奥に、植木に埋もれた石碑があった。以下の□は、関根(1983)に「橋本作次郎御謹書」と記述されていた。

(正面) 碑文

當山再建紀念碑

橋本□次□□□□ 大正拾四歳四月建之

(裏面) 寄附者連名

寄附者の氏名、居住地と思われる地名、寄進内容が4段にわたって記されていた。金額については単位が円のものについては、「金」「円」「也」を省略する。例

えば、「金五拾円也」は「五拾」と略記する。総額 826 円、寄附者人数 63 人、平均寄付額 13 円である。

### 再建寄附芳名

| 見出し  | 寄進内容 | 人数 | 見出し           | 寄進内容                | 人数 |
|------|------|----|---------------|---------------------|----|
| 大本山  | 五拾   | 1  | 東京            | 拾                   | 3  |
| 兼務住職 | 五拾   | 1  |               | 拾                   | 1  |
|      | 四拾壹  | 1  |               | 金七円五十■<br>(「銭」のつくり) | 2  |
|      | 参拾五  | 1  |               | 也                   | 2  |
|      | 貳拾八  | 1  |               | 七                   | 9  |
|      | 貳拾五  | 2  | 北足立郡鳩ヶ谷町      | 五                   | 1  |
|      | 貳拾四  | 2  | 岩槻町元浅園        | 五                   | 1  |
|      | 貳拾参  | 1  | 釣上新田          | 五                   | 1  |
|      | 貳拾   | 2  | 東京市深川区<br>牡丹帳 | 五                   | 1  |
|      | 拾五   | 1  |               | 四                   | 7  |
|      | 拾壹   | 1  | 北足立郡大門村       | 四                   | 1  |
|      | 拾    | 4  | 信徒總代工事<br>委員  | 貳拾壹                 | 1  |
|      | 八    | 6  |               | 貳拾                  | 1  |
|      | 五    | 3  |               | 三拾六                 | 1  |
|      | 四    | 1  |               | 五拾                  | 1  |
| 有志芳名 | 貳拾五  | 1  | 建築請負棟梁        | 拾                   | 1  |

さいたま市(2007)には、玉泉寺の由緒として、「大正十二年九月一日ノ大地震ニ依リ本堂全潰ス」と記述されている。このため、この石碑は関東地震に関する石碑と判断した。



図 9 玉泉寺に建てられている石碑

Fig.9 The monument in the Gyokusenji temple.

### (9) 神明神社(旧与野市・旧木崎村)

【現住所：中央区上落合 1-10-3】

本殿のすぐ近く(本殿に向かって右側)に、1923 年関東地震に関して記された石碑が建てられている。

(正面) 碑文

獻納／金壹百貳拾圓也幟竿置場改築費／上落合青年典風會農業部

(裏面) 碑文

上落合青年典風會農業部員(人名 13 名)  
 大正十三年九月一日改築成工／大震火災復興第一  
 年記念日建之／近□□□ 書／田中義虎 工

白鳥(1981)によると、地元の青年団が関東大震災からの避難者の世話など、精力的に取り組んでいた。



図 10 神明神社に建てられている石碑  
 Fig.10 The monument in the Shinmei shrine.

(10) 水神社(旧浦和市・旧大間木村)

【現住所：緑区大間木 2395】

神社の近くには芝川(見沼中悪水路)が流れる。石碑は鳥居の左横にたてられている。水神社の石碑は、社殿の再建時に建てられたものである。

(正面) 碑文

抑當通船堀者見沼代用水路開堀後享保十五年井澤  
 弥惣兵衛爲永之所設／計也連絡東西代用水路與中  
 悪水路築造閘門於上下各二ヶ所宛翌十六年／竣工  
 共得許圖自深谷至東京廻米之便當時此水路之通船  
 権者高田茂右衛／鈴木文平兩者之所有而兩者被給  
 通船屋敷于江戸神田花房町及武芴尾間／木村文政  
 三年以後高田氏之支配也降而明治七年高田貢平氏  
 受通船堀及／附屬地之払下于埼玉県令后一切之権  
 利稷於見沼通船会社爾後依岡村俊／太郎氏鈴木順  
 太郎氏小嶋藤七氏之尽力大正二年船子之者受之払  
 下而又／守護神當水神社之鎮座敷地者鈴木順太  
 郎氏外二十五名所有也偶遇大正／十二年九月一日之  
 大震災也社殿全潰八町山口之倒潰家屋亦及三十余  
 戸／然救水難神威遂揺諸氏至得協賛大正十三年起  
 工令十四年落成四月三日／举行御遷宮式茲記念運  
 河閘門之遺跡並水神社再建設碑以梗概傳永久焉／  
 昭和四年十月 高橋佐平謹書 大工石塚与四郎 秋  
 本雄太郎鐫

この碑文は次のように解読できる。

そもそも、この通船堀は見沼代用水路が堀を開通した後の享保十五年、井澤弥惣兵衛が永が設計したものである。通船堀が東と西の代用水路と中悪水路に接続するところの上流、下流それぞれ二箇所ずつに水門を築き、翌年十六年に竣工すると共に許しを得た。深谷から東京に至ることにより、米の運搬の便を図った。当時、この水路に船を通す権利は高田茂右と鈴木文平の両者が所有していて、両者は江戸神田花房町、及び武芴州尾間木に通船屋敷を与えられた。文政三年以後は高田氏が支配した。時代が下り、明治七年、高田貢平氏は通船堀及び附屬の土地が埼玉県知事后より払い下げられたものを受けとり、全ての権利は見沼通船会社に与えられた。その後、岡村俊太郎氏、鈴木順太郎氏、小嶋藤七氏の尽力によって、大正二年、水夫が払い下げられたものを受け取った。そしてまた、守護神であるこの水神社が鎮座する敷地は、鈴木順太郎氏ほか二十五名が所有している。たまたま、大正十二年九月一日の大震災があり、社殿は全て潰れ、八町山口の倒潰した家屋もまた三十数戸に及んだ。けれども、水難を救った神の威力は、結局多くの人々の心を動かし、協賛を得るに至った。大正十三年工事を起こし、十四年に落成し、四月三日御遷宮式を挙行し、あわせて、運河水門の遺跡並びに水神社の再建を記念して、大略を碑に設けることで永久にこれを伝える。昭和四年十月高橋佐平謹書 大工石塚与四郎 秋本雄太郎鐫

(裏面) 寄附者連名

寄附者の氏名、居住地と思われる地名、寄進内容が7段にわたって記されていた。金額については単位が円のものに関しては「金」「円」を省略している。例えば、「金一百円」は「一百」と略記する。総額 1,000 円、寄附者人数 139 人、平均寄付額 7 円である。

| 見出し | 寄進内容              | 人数 | 見出し | 寄進内容 | 人数 |
|-----|-------------------|----|-----|------|----|
|     | 壹百                | 1  |     | 壹    | 16 |
|     | 廿五                | 1  |     | 十三   | 1  |
|     | 廿                 | 1  |     | 十    | 1  |
|     | 拾五                | 2  |     | 五    | 3  |
|     | 拾                 | 6  |     | 参    | 1  |
|     | 五                 | 9  |     | 貳    | 1  |
|     | 拾五                | 1  |     | 三十   | 1  |
|     | 五                 | 14 |     | 廿五   | 1  |
|     | 拾                 | 1  |     | 廿    | 11 |
|     | 五                 | 1  |     | 十七   | 1  |
|     | 参                 | 21 |     | 十五   | 5  |
|     | 貳                 | 31 |     | 三十   | 2  |
|     | 金一円五十■<br>(銭のつくり) | 6  |     |      |    |

埼玉県神社庁(1998)によると、氏子区域が八丁と下山口新田であることから、丁と町の違いがあるものの、碑文中の「八町山口」はこれであると考えられる。埼玉県北足立郡(1925)に、見沼用水復旧工事の件に関し陳情とあるので見沼中悪水路または、東西代用水路にも何らかの被害があったと思われる。



図 11 水神社に建てられている石碑  
Fig.11 The monument in the Sui shrine.

### 3-2. 1923 年関東地震に関する可能性を有する石碑

以下に紹介する石碑は、関東地震に関して記されておらず、その後の文献調査や聞き取り調査でも、明確に地震と関係づけることはできなかった。しかし、建立された年代や碑文の内容から、1923 年関東地震に関する可能性を有するものである。

#### (11) 薬王寺(旧大宮市・旧大砂土村)

【現住所：見沼区島町 1086】

本堂向かって右側のフェンス沿いにこの石碑は建てられている。

(正面)碑文

薬師堂改築記念碑／勲八等細井一郎謹書

(裏面上段)寄附者連名

起工昭和六年二月二日 上棟同三月十五日入佛同年五月四日

(裏面下段)寄附者連名

裏面には寄附者の氏名、居住地と思われる地名、寄進内容が 5 段にわたって記されていた。金額については「金」「圓」を省略する。例えば、「金壹百圓」は「壹百」と略記する。総額 1,508 円、人数 68 人、平均寄附額 22 円、その他 12 人である。

寄附者芳名

起工昭和六年二月二日上棟同年三月十五日入佛同年五月四日

※8

| 見出し | 寄進内容 | 人数 | 見出し | 寄進内容 | 人数 |
|-----|------|----|-----|------|----|
| 當字  | 壹百   | 2  | 砂   | 五    | 1  |
|     | 八拾   | 1  | 川口  | 五    | 1  |
|     | 七拾   | 2  | 大宮  | 五    | 1  |
|     | 六拾   | 1  | 岩槻  | 五    | 1  |
|     | 五拾   | 4  | 野田  | 五    | 1  |
|     | 四拾五  | 1  | 春岡  | 五    | 2  |

※7 へ続く

※9 へ続く

※7

| 見出し | 寄進内容 | 人数 |
|-----|------|----|
|     | 四拾   | 2  |
|     | 参拾五  | 2  |
|     | 参拾   | 2  |
|     | 参拾   | 1  |
|     | 貳拾五  | 1  |
|     | 貳拾貳  | 2  |
|     | 貳拾   | 6  |
|     | 拾五   | 7  |
|     | 拾    | 8  |
|     | 七    | 2  |
|     | 五    | 3  |
| 上尾  | 参拾   | 1  |
| 片柳  | 拾    | 1  |
| 宮原  | 拾    | 1  |
| 小室  | 拾    | 1  |
| 浦和  | 拾    | 1  |

※9

| 見出し             | 寄進内容          | 人数 |
|-----------------|---------------|----|
| 大宮              | 五             | 1  |
| 七里              | 五             | 1  |
| 東京              | 五             | 1  |
| 大宮              | 五             | 1  |
| 日進              | 参             | 1  |
| 大宮              | 参             | 1  |
| 七里              | 参             | 1  |
| 岩槻              | 参             | 1  |
| 春岡              | 参             | 1  |
|                 | 壹百 薬王寺<br>祠堂金 |    |
| 工事委員            |               | 4  |
| 信徒総代            |               | 4  |
| 副委員長            |               | 1  |
| 委員長             |               | 1  |
| 薬王寺兼務住<br>職 放光院 |               | 1  |
| 石工              |               | 1  |

※8 へ続く

昭和十乙亥之歳五月八日建之



図 12 薬王寺に建てられている石碑

Fig.12 The monument in the Yakuouji temple.

#### (12) 中山神社(旧大宮市・旧片柳村)

【現住所：見沼区中川 143】

鳥居の近く、本堂に向かって左側の林の中にこの石碑は建てられていた。

(正面)碑文

本社殿透塀改築記念碑／正八位源重浪八十八翁謹書／中群鳳刻

(裏面上段)碑文

起工大正十三年二月二十一日

竣工大正十四年七月十二日

紀元二千五百八十五年

(裏面下段)寄附者連名

寄附者の氏名、居住地と思われる地名、寄進内容が 6 段にわたって記されていた。金額については「金」「円」「也」を省略する。例えば、「金九百五十円也」は「九百五十」と略記する。総額 16,013 円、寄附者人数 95 人、平均寄附額 169 円、その他 33 人である。

氏子寄附連名

| 見出し | 寄進内容  | 人数 | 見出し    | 寄進内容    | 人数 |
|-----|-------|----|--------|---------|----|
|     | 九百五十  | 1  |        | 五十五     | 1  |
|     | 八百    | 1  |        | 五十      | 3  |
|     | 六百五十  | 1  |        | 四十五     | 1  |
|     | 六百二十一 | 1  |        | 四十      | 1  |
|     | 六百二十  | 1  |        | 三十六     | 1  |
|     | 六百十   | 1  |        | 三十五     | 2  |
|     | 五百九十七 | 1  |        | 三十四     | 1  |
|     | 五百八十六 | 1  |        | 三十一     | 1  |
|     | 五百六十六 | 1  |        | 二十九     | 1  |
|     | 五百四十七 | 1  |        | 二十三     | 1  |
|     | 四百八十五 | 1  |        | 二十二     | 1  |
|     | 四百五十  | 1  |        | 二十一     | 1  |
|     | 四百二十五 | 3  |        | 二十      | 1  |
|     | 三百七十  | 1  |        | 十七      | 1  |
|     | 三百五十  | 1  |        | 十六      | 1  |
|     | 三百二十七 | 1  |        | 十       | 1  |
|     | 三百一   | 1  | 特志寄附芳名 | 五十      | 2  |
|     | 二百九十五 | 2  |        | 三十      | 1  |
|     | 二百八十八 | 1  |        | 二十      | 2  |
|     | 二百五十  | 1  |        | 十       | 11 |
|     | 二百三十三 | 1  |        | 五       | 4  |
|     | 二百三十  | 1  |        | 三十      | 1  |
|     | 二百十六  | 1  |        | 二十      | 1  |
|     | 二百十五  | 1  |        | 十       | 1  |
|     | 二百    | 3  |        | 以下は削れて  |    |
|     | 百七十七  | 1  |        | いて判読できな |    |
|     | 百五十五  | 1  |        | かった。    |    |
|     | 百五十   | 1  | 工事發企人  |         | 1  |
|     | 百四十   | 1  | 氏子惣代人  |         | 4  |
|     | 百三十   | 2  | 工事委員   |         | 14 |
|     | 百十七   | 1  | 元區長    |         | 1  |
|     | 百十五   | 1  | 現區長    |         | 1  |
|     | 百     | 1  | 同區長代理  |         | 1  |
|     | 九十五   | 1  | 社掌     |         | 1  |
|     | 九十    | 2  | 工事設計技師 |         | 1  |
|     | 八十七   | 1  | 同技手    |         | 1  |
|     | 八十五   | 1  | 大工棟梁   |         | 1  |
|     | 八十四   | 1  | 木挽頭    |         | 1  |
|     | 八十三   | 1  | 石工頭    |         | 1  |
|     | 七十八   | 1  | 銅板葺飾金具 |         | 1  |
|     | 七十五   | 2  | 職頭     |         | 1  |
|     | 七十    | 1  | 鳶頭     |         | 1  |
|     | 六十五   | 1  | 神寶裝飾   |         | 1  |
|     | 五十九   | 1  | 植木職頭   |         | 1  |
|     | 五十七   | 1  | 建具職頭   |         | 1  |



図 13 中山神社に建てられている石碑  
Fig.13 The monument in the Nakayama shrine.

埼玉県神社庁(1998)によると、「中山神社の南側を

流れる芝川の谷は大宮台地からの湧水や見沼をはじめとするたくさんの沼を抱えた沼沢地であった」と記されている。

(13)湯殿神社(旧大宮市・旧七里村)

【現住所：見沼区東門前 356】

本殿の右手前にこの石碑は建てられていた。

(正面)碑文

基金記念碑／社掌榎本良作書

(裏面上段)碑文

一金壹千圓也基金／一金七百參圓也 鳥居建設各所／改築修繕諸費／昭和三年三月吉日

(裏面下段)寄附者連名

寄附者の氏名、居住地と思われる地名、寄進内容が3段にわたって記されていた。金額については「一」「金」「円」を省略する。例えば、「一金貳百円」は「貳百」と略記する。総額 1,768 円、寄附者人数 49 人、平均寄付金額 36 円、その他 11 人である。

| 見出し | 寄進内容 | 人数 | 見出し       | 寄進内容 | 人数 |
|-----|------|----|-----------|------|----|
|     | 貳百   | 1  |           | 拾八   | 1  |
|     | 百五拾  | 1  |           | 拾五   | 6  |
|     | 壹百   | 1  |           | 拾    | 8  |
|     | 八拾   | 1  | 發起人       |      |    |
|     | 七拾五  | 1  | 氏子惣代      |      | 2  |
|     | 七拾   | 1  | 氏子惣代      |      | 2  |
|     | 六拾   | 3  | 世話人       |      | 4  |
|     | 五拾   | 3  | 特別寄付      |      |    |
|     | 四拾五  | 1  |           | 轡竿壹本 | 1  |
|     | 四拾   | 1  |           | 拾五   | 1  |
|     | 參拾五  | 1  | 社掌        | 貳拾   | 1  |
|     | 參拾   | 5  |           | 周圍柵  | 1  |
|     | 貳拾五  | 4  | 東京市神田区大和町 | 參拾   | 1  |
|     | 貳拾   | 7  | 石工 岩槻     |      | 1  |



図 14 湯殿神社に建てられている石碑  
Fig.14 The monument in the Yudono shrine.

神主の方に電話で確認したところ、神社の過去帳まで調べて下さったものの、改築の経緯までは記されていなかった。神主の方の私見として、「1923年関東地震による改築と考えられる。氏子から寄附を募って十分に集まってから改築したため、震災から5年程後になったのではないか。」と伺った。

**(14)満福寺(旧大宮市・旧日進村)**

【現住所：北区日進町 2-1003】

本堂向かって左側、境内の片隅の墓地にこの石碑は建てられていた。

(正面)碑文

本堂修繕向拝新築碑 當山第三十七世秀浄代

(裏面)寄附者連名

寄附者の氏名、居住地と思われる地名、寄進内容が7段にわたって記されていた。金額については「圓」を省略する。例えば、「壹百圓」は「壹百」と略記する。総額 3,063 円 50 銭，人数 177 人，平均寄付額 17 円，その他 21 人である。

| 見出し           | 寄進内容 | 人数           | 見出し         | 寄進内容 | 人数 |
|---------------|------|--------------|-------------|------|----|
| 日進村大字上<br>加   | 壹百   | 1            | 日進大字西谷      | 五拾   | 2  |
|               | 五拾   | 1            |             | 三拾   | 1  |
|               | 五拾   | 4            |             | 二拾五  | 1  |
|               | 四拾   | 2            |             | 貳拾   | 1  |
|               | 三拾五  | 3            |             | 参    | 1  |
|               | 参拾   | 5            | 指扇村大字下<br>郷 | 三拾   | 3  |
|               | 貳拾五  | 9            |             | 貳拾   | 1  |
|               | 貳拾   | 1            |             | 拾五   | 2  |
|               | 貳拾   | 8            |             | 拾    | 1  |
|               | 拾七   | 4            | 日進大字櫛引      | 貳拾   | 1  |
| 拾五            | 7    |              | 拾五          | 3    |    |
| 拾貳            | 1    |              | 拾参          | 1    |    |
| 拾             | 6    |              | 拾           | 1    |    |
| 八             | 7    | 宮原村大字加<br>茂宮 | 参拾          | 2    |    |
| 八             | 2    |              | 貳拾          | 2    |    |
| 七             | 4    |              | 貳拾          | 2    |    |
| 六             | 2    |              | 拾五          | 1    |    |
| 五             | 10   |              | 拾           | 2    |    |
| 三             | 3    |              | 七           | 1    |    |
| 宮原村大字奈<br>良瀬戸 | 五拾   | 4            |             | 五    | 3  |
|               | 三拾   | 5            | 大宮町         | 参拾   | 1  |
|               | 貳拾   | 2            |             | 貳拾   | 1  |
|               | 貳拾   | 2            |             | 拾五   | 1  |
|               | 拾五   | 2            |             | 拾    | 2  |
|               | 拾貳   | 1            |             | 六    | 1  |
|               | 拾    | 4            |             | 五    | 3  |
|               | 八    | 4            |             | 四    | 1  |
|               | 七    | 1            | 他町村         |      |    |
|               | 六    | 1            | 東京市         | 貳拾   | 2  |
| 五             | 7    | 東京市          | 五           | 1    |    |
| 四             | 1    | 王子町          | 拾           | 1    |    |
| 参円五拾銭         | 3    | 高崎市          | 貳拾          | 1    |    |
| 参             | 7    | 興野町          | 五           | 1    |    |
| 貳             | 1    | 檀徒総代         |             | 9    |    |
| 指扇村大字内<br>野本郷 | 五拾   | 1            | 工事委員        |      | 11 |
|               | 三拾   | 2            | 大宮 石工       |      | 1  |
|               | 拾五   | 1            |             |      |    |



図 15 満福寺に建てられている石碑

Fig.15 The monument in the Manpukuji temple.

**(15)秋葉神社(旧大宮市・旧指扇村)**

【現住所：西区中釘 818】

広い境内の中、本殿向かって左側にある阿弥陀堂の近く、玉垣沿いにこの石碑は建てられていた。

(正面)碑文

秋葉神社 社務所 改築記念碑

(裏面)寄附者連名

寄附者の氏名、居住地と思われる地名、寄進内容が20段にわたって記されていた。金額については単位が円のものについては「円」を省略している。例えば、「五円」は「五」と略記する。総額 9,511 円 21 銭，人数 1269 人，平均寄付額 7 円，その他 61 人である。

※13

| 見出し         | 金額    | 人数 | 見出し  | 金額    | 人数 |
|-------------|-------|----|------|-------|----|
| 衆議院議員       |       | 30 |      | 三     | 2  |
| 北足立郡指扇<br>村 | 五     | 7  | 福岡村  | 十     | 2  |
|             | 三     | 2  |      | 十五    | 1  |
|             | 五     | 2  |      | 五     | 2  |
|             | 三     | 2  |      | 三     | 5  |
|             | 五     | 7  | 日東村  | 五     | 1  |
|             | 四     | 1  |      | 三     | 5  |
|             | 三     | 5  |      | 三     | 1  |
|             | 三     | 1  | 室岡村  | 五     | 1  |
|             | 十     | 2  |      | 三     | 3  |
|             | 三     | 1  | 柏原村  | 三     | 2  |
|             | 十五    | 1  | 高麗川村 | 十五    | 1  |
|             | 三     | 4  | 精明村  | 二十    | 1  |
|             | 十     | 2  | 芳野村  | 五     | 3  |
|             | 十五    | 1  |      | 三     | 1  |
|             | 十     | 3  |      | 十五    | 1  |
|             | 五     | 2  | 植木村  | 十六    | 1  |
|             | 三     | 2  |      | 二十    | 1  |
| 日進村         | 三円五十銭 | 4  |      | 十五    | 1  |
|             | 三     | 21 |      | 五     | 1  |
|             | 五     | 3  | 川越市  | 五十    | 1  |
|             | 三     | 23 |      | 十     | 2  |
| 三橋村         | 三十円十銭 | 1  |      | 二十    | 2  |
|             | 三十    | 1  | 志多村  | 三円五十銭 | 1  |

次頁※10に続く

次頁※14に続く

※10

| 見出し  | 金額     | 人数 | 見出し                       | 金額    | 人数 |
|------|--------|----|---------------------------|-------|----|
|      | 五      | 1  |                           | 三     | 1  |
|      | 三      | 8  | 江戸町                       | 五     | 1  |
| 平方村  | 三      | 6  | 下松江町                      | 五     | 1  |
|      | 五      | 1  | 喜志町                       | 五     | 1  |
|      | 三      | 1  |                           | 三     | 2  |
|      | 五      | 1  | 南町                        | 五     | 3  |
|      | 三      | 7  |                           | 三     | 13 |
|      | 五      | 2  | 菅原町                       | 五     | 1  |
|      | 三      | 7  |                           | 三     | 12 |
|      | 五      | 1  | 新宿町                       | 三     | 1  |
|      | 十      | 1  | 新田町                       | 五     | 1  |
|      | 三      | 1  | 六軒町                       | 三     | 1  |
|      | 五      | 2  | 久保町                       | 三     | 2  |
|      | 三      | 1  | 上松江町                      | 五     | 1  |
|      | 五      | 2  |                           | 三     | 1  |
|      | 三      | 1  |                           | 五     | 1  |
|      | 五      | 2  |                           | 三     | 3  |
|      | 三      | 7  | 同心町                       | 十     | 1  |
| 大谷村  | 八      | 1  |                           | 三     | 1  |
|      | 三      | 10 | 宮下倉町                      | 三     | 1  |
|      | 七      | 1  | 相生町                       | 三     | 1  |
|      | 三      | 2  | 志義町                       | 二十    | 1  |
|      | 七      | 1  |                           | 十     | 1  |
|      | 五      | 2  |                           | 五     | 1  |
| 大石村  | 十      | 1  |                           | 三     | 1  |
|      | 三      | 1  | 塚町                        | 三     | 1  |
|      | 十二円五十銭 | 1  | 南埼玉郡久喜町                   | 十     | 1  |
|      | 十      | 1  |                           | 五     | 2  |
|      | 三      | 2  |                           | 三     | 2  |
|      | 五      | 1  | 江面村                       | 三     | 1  |
|      | 三      | 4  |                           | 五     | 1  |
|      | 五      | 1  | 粕壁町                       | 三     | 1  |
|      | 三      | 16 | 内牧村                       | 五     | 1  |
| 川田谷村 | 十      | 1  |                           | 三     | 1  |
|      | 五      | 1  | 河合村                       | 八     | 1  |
|      | 三      | 1  |                           | 三     | 14 |
| 上尾町  | 三      | 2  | 川通村                       | 三     | 6  |
|      | 十五     | 1  | 大山村                       | 五     | 1  |
|      | 三      | 6  |                           | 三     | 3  |
|      | 五      | 1  | 平野町                       | 五     | 1  |
| 浦和町  | 五      | 5  |                           | 三     | 6  |
|      | 三      | 10 |                           | 三     | 3  |
|      | 三      | 31 | 綾瀬村                       | 三     | 7  |
| 木崎村  | 三      | 22 |                           | 六     | 1  |
|      | 十      | 1  |                           | 三     | 5  |
|      | 三      | 3  | 慈恩寺村                      | 三     | 7  |
|      | 十五     | 1  |                           | 三十    | 1  |
|      | 五      | 2  |                           | 二十八   | 1  |
| 原市村  | 三      | 5  |                           | 十     | 1  |
|      | 五      | 1  |                           | 三     | 4  |
|      | 三      | 1  | 篠津村                       | 三     | 1  |
|      | 五      | 3  | 日勝村                       | 三     | 2  |
|      | 三      | 5  | 黒浜村                       | 三     | 2  |
|      | 三      | 9  | 蒲生村                       | 十     | 1  |
| 小室村  | 三      | 4  | 北葛飾郡静村                    | 六     | 1  |
| 大里村  | 二十五    | 1  | 杉戸村                       | 三円五十銭 | 1  |
|      | 三      | 3  |                           | 三     | 1  |
|      | 五      | 1  | 権現堂村                      | 三     | 1  |
|      | 三      | 12 | 櫻田村                       | 三     | 1  |
| 大宮町  | 五      | 1  | 南櫻井村                      | 三     | 1  |
|      | 三      | 1  | 幸松村                       | 五     | 1  |
|      | 五      | 1  |                           | 三     | 2  |
|      | 三      | 6  | 堤郷村                       | 三     | 5  |
|      | 五      | 1  | 栗橋町                       | 十     | 1  |
|      |        |    | 大里郡男■<br>(かんむりがへで、その下が表)村 | 三     | 3  |
|      | 八      | 1  |                           |       |    |
|      | 三      | 15 | 本島村                       |       | 1  |
|      | 五      | 1  | 北埼玉郡水深村                   | 五     | 1  |
|      | 三      | 7  |                           | 三     | 1  |
|      | 五      | 1  | 比企郡出丸村                    | 三     | 1  |
|      | 三      | 10 | 唐子村                       | 三     | 4  |
|      | 三      | 7  | 菅谷村                       | 五     | 2  |
|      | 五      | 1  |                           | 三     | 4  |
|      | 三      | 2  | 鉢形村                       | 五     | 1  |
|      | 五      | 4  | 八ツ保村                      | 五     | 2  |
|      | 五      | 10 |                           | 三     | 1  |
|      | 五      | 3  | 三保谷村                      | 五     | 1  |

※15 へ続く

※11 へ続く

※11

| 見出し  | 金額      | 人数 | 見出し                            | 金額     | 人数 |
|------|---------|----|--------------------------------|--------|----|
|      | 三       | 3  |                                | 三      | 1  |
|      | 五       | 1  |                                | 四円五十銭  | 1  |
|      | 三       | 19 | 秩父郡秩父町                         | 三      | 1  |
|      |         |    | 東京府下板橋町                        | 五      | 1  |
|      | 五       | 3  | 王子町                            | 五      | 1  |
|      | 三       | 5  | 日暮里町                           | 十      | 1  |
|      | 五       | 1  |                                | 十      | 1  |
|      | 十       | 1  | 大森町                            | 三十     | 1  |
|      | 十三      | 12 | 戸塚町                            | 三十     | 1  |
|      | 五       | 3  | 小松川町逆井                         | 三      | 1  |
|      | 三       | 2  | 東京市本郷区                         | 五      | 1  |
|      | 三       | 10 |                                | 五十     | 1  |
|      | 三円五十銭   | 1  | 麻布区                            | 三      | 1  |
|      | 三       | 3  | 牛込区                            | 二十     | 1  |
|      | 五       | 1  | 小石川区                           | 五十     | 1  |
|      | 三       | 1  |                                | 十      | 1  |
|      | 五       | 1  |                                | 三      | 1  |
|      | 三       | 2  | 日本橋区                           | 五      | 2  |
|      | 五       | 1  | 四ッ谷区                           | 三      | 1  |
|      | 三       | 1  |                                | 五      | 1  |
|      | 五       | 7  | 赤坂区                            | 十五     | 1  |
|      | 五       | 1  | 下谷区                            | 三      | 2  |
|      | 五       | 5  | 本所区                            | 二十     | 1  |
|      | 三       | 27 | 芝区                             | 十      | 1  |
|      | 五       | 1  |                                | 十五     | 1  |
|      | 三       | 2  | 千葉県印旛郡八街村                      | 十五     | 1  |
| 桶川町  | 三       | 6  |                                | 十      | 1  |
|      | 十二円二十五銭 | 1  |                                | 五      | 1  |
|      | 三       | 1  |                                | 五      | 2  |
| 戸田村  | 三       | 1  |                                | 三      | 4  |
| 榑水村  | 五       | 2  | 南満洲撫順                          | 五      | 1  |
|      | 三       | 8  | 川越市                            | 三十     | 1  |
|      |         |    | 北足立郡指扇村                        | 三百     | 1  |
|      | 十三      | 1  |                                | 二百     | 1  |
|      | 十二円五十銭  | 1  |                                | 百      | 2  |
| 馬宮村  | 八       | 1  |                                | 五十     | 7  |
|      | 十三      | 1  |                                | 四十五    | 3  |
|      | 八       | 1  |                                | 四十     | 2  |
|      | 十三      | 1  |                                | 三十     | 6  |
|      | 十       | 1  |                                | 二十五    | 1  |
|      | 三       | 1  |                                | 二十     | 12 |
|      | 二十六     | 1  |                                | 十七     | 1  |
|      | 五       | 1  |                                | 十五     | 5  |
| 片柳村  | 三       | 2  |                                | 十二     | 5  |
|      | 五       | 2  |                                | 十      | 17 |
|      | 三円五十銭   | 1  |                                | 八      | 2  |
|      | 三       | 2  |                                | 七      | 1  |
|      | 二十      | 1  | 大宮町堀内                          | 三      | 1  |
|      | 五       | 1  | 中釘                             | 七      | 1  |
|      | 三       | 23 |                                | 六      | 12 |
|      | 五       | 4  |                                | 五      | 10 |
|      | 三       | 4  |                                | 四円五十銭  | 1  |
| 春岡村  | 三       | 2  |                                | 三円五十銭  | 1  |
|      | 三円五十銭   | 1  |                                | 三      | 2  |
|      | 三       | 4  |                                | 五      | 1  |
| 加納村  | 五       | 2  |                                | 三      | 3  |
| 川口町  | 三       | 1  |                                | 十      | 1  |
| 宮原村  | 五       | 1  |                                | 三      | 2  |
|      |         |    | 蓮田停車場■<br>(へんが「ケ」,<br>つくりが「且」) | 三      | 2  |
| 小針村  | 五       | 1  |                                | 三      | 2  |
|      | 三       | 4  |                                | 三      | 1  |
| 大久保村 | 三       | 3  |                                | 十      | 1  |
|      | 八円十銭    | 1  |                                | 二十五    | 1  |
|      | 十巻      | 1  |                                | 十      | 2  |
|      | 六       | 1  |                                | 二十五    | 1  |
|      | 十四円五十銭  | 1  |                                | 十      | 1  |
| 上平村  | 九       | 1  |                                | 百十八円二銭 | 1  |
|      | 三       | 1  |                                | 二十五    | 1  |
|      | 十五      | 1  |                                | 十      | 4  |
|      | 三       | 7  |                                | 十五     | 2  |
| 野田村  | 三       | 2  |                                | 三百五十巻  | 1  |
|      | 五       | 1  |                                | 二十五    | 1  |
| 七里村  | 五       | 1  |                                | 十巻     | 1  |
|      | 三       | 10 |                                | 三      | 3  |
|      | 五       | 2  |                                | 五      | 3  |
|      | 三       | 4  | 大宮町                            | 五      | 10 |
|      | 五       | 1  |                                | 三      | 1  |
|      | 五       | 5  |                                | 十      | 9  |
|      | 五       | 2  |                                | 十      | 3  |
|      | 三       | 1  | 川口町                            | 十      | 1  |
| 口野町  | 十七      | 1  |                                | 五      | 1  |
|      | 三       | 2  | 宮原町                            | 五      | 1  |
|      | 三       | 3  |                                | 三      | 13 |
|      | 三       | 7  | 川越市六軒町                         | 十      | 1  |
|      | 五       | 3  |                                | 五      | 1  |
|      | 三       | 8  | 蓮雀町                            | 五      | 1  |
|      |         |    |                                | 三      | 1  |

次頁※12 へ続く

次頁※16 へ続く

※12

| 見出し     | 金額    | 人数 | 見出し   | 金額    | 人数 |
|---------|-------|----|---|-------|----|
|         | 十六    | 1  | 上松江町  | 三     | 3  |
|         | 三     | 1  | 川口町   | 五     | 1  |
|         | 三十    | 1  | 神田区小柳町  | 三     | 1  |
|         | 十     | 1  | 清河寺   | 十     | 1  |
|         | 五     | 1  |   | 五     | 2  |
|         | 三     | 1  |   | 三     | 14 |
| 大宮大里    | 十     | 1  |   | 十     | 1  |
|         | 五     | 27 |   | 三     | 1  |
| 石戸村     | 三     | 21 | 蕨町  | 五     | 1  |
| 鉄道省大宮工場 | 三     | 13 |   | 三     | 1  |
|         | 四     | 1  | 幸松村   | 十     | 1  |
| 蕨町      | 五     | 3  |   | 四     | 1  |
| 入間郡水谷村  | 八     | 6  |   | 三     | 2  |
|         | 五     | 2  | 大山村   | 三     | 5  |
|         | 三     | 7  | 大宮町   | 三     | 1  |
| 古谷村     | 七     | 1  | 木崎村   | 三     | 1  |
|         | 十     | 1  | 上尾村   | 三     | 1  |
|         | 三     | 1  |   | 十     | 1  |
|         | 十     | 1  | 芳野村   | 十五    | 1  |
|         | 三     | 1  | 大谷村   | 五     | 1  |
|         | 七     | 1  |   | 三     | 1  |
|         | 三     | 1  | 北葛幸■<br>(「き」へんで、<br>つくりは上が<br>「ソ」、下が<br>「ロ」)村 | 五円五十銭 | 2  |
|         | 七     | 1  |   | 五     | 2  |
|         | 四     | 1  |   | 三円五十銭 | 1  |
|         | 三円五十銭 | 1  |   | 三     | 3  |
|         | 十     | 1  | 入間郡南畑村  | 四十五   | 1  |
|         | 三     | 1  | 加納村   | 三     | 4  |
|         | 六     | 1  | 大工棟梁  | 十     | 3  |
|         | 五     | 1  | 社務所改築委員                                       |       | 19 |
|         | 三     | 2  | 氏子總代  |       | 8  |
|         | 五     | 1  | 顧問  |       | 1  |
|         | 三     | 1  | 社掌  |       | 2  |
|         | 五     | 2  |   |       |    |

前々頁※13へ続く



図 16 秋葉神社に建てられている石碑  
Fig.16 The monument in the Akiba shrine.

(16)長命寺(旧岩槻市・旧慈恩寺村)

【現住所：岩槻区小溝 497】

この石碑は本堂に向かって右側の道路側のフェンス沿いに建てられていた。

(正面)碑文

本堂修繕記念碑／淺草寺大僧正禁海謹書

(裏面)寄附者連名

※16

寄附者の氏名、居住地と思われる地名、寄進内容が7段にわたって記されていた。この石碑においては、石碑の書き方より金額を見出しにしている。総額1,675円、寄附者人数147人、寄附者平均額11円、その他13人である。

寄付者芳名

| 見出し  | 地名   | 人数 | 見出し                | 地名   | 人数 |
|------|------|----|--------------------|------|----|
| 五十円  | 東京   | 1  | 七円                 | 慈恩寺村 | 4  |
|      | 川田谷村 | 1  |                    | 豊春村  | 1  |
|      | 台湾   | 1  | 五円                 | 慈恩寺村 | 16 |
| 四十円  | 豊春村  | 1  |                    | 豊春村  | 1  |
| 三十円  | 慈恩寺村 | 1  |                    | 岩槻町  | 3  |
|      | 神奈川  | 1  |                    | 東京   | 1  |
|      | 東京   | 1  |                    | 石戸村  | 1  |
| 二十五円 | 大門村  | 1  |                    | 千葉県  | 1  |
| 二十円  | 慈恩寺村 | 9  | 三円                 | 蓮田   | 1  |
|      | 川田谷村 | 1  | 七十円                | 當字   | 1  |
|      | 東京   | 1  | 六十円                | 當字   | 1  |
| 十五円  | 慈恩寺村 | 2  | 四十円                | 當字   | 1  |
| 十円   | 慈恩寺村 | 15 | 三十円                | 當字   | 3  |
|      | 河谷村  | 1  | 二十五円               | 當字   | 1  |
|      | 入間川町 | 1  | 二十円                | 當字   | 4  |
|      | 岩槻町  | 2  | 十三円                | 當字   | 4  |
|      | 植水村  | 1  | 十円                 | 當字   | 7  |
|      | 笹目村  | 1  | 八円                 | 當字   | 1  |
|      | 粕壁町  | 1  | 六円                 | 當字   | 1  |
|      | 豊春村  | 1  | 五円                 | 當字   | 10 |
|      | 世田ヶ谷 | 1  | 五円                 | 當字   | 3  |
|      | 川田谷村 | 1  | 四円                 | 當字   | 3  |
| 十円   | 大宮町  | 1  | 三円                 | 當字   | 9  |
|      | 山形   | 1  | 二円五十■<br>(「銭」のつくり) | 當字   | 2  |
|      | 杉並町  | 1  | 二円                 | 當字   | 7  |
|      | 東京   | 1  | 三円                 | 當字   | 1  |
|      | 飯能   | 1  | 二円                 | 當字   | 5  |
|      | 仁手   | 1  | 十円                 | 當字   | 1  |
|      | 亀有村  | 1  | 發起世話人              | 當字   | 13 |

大正十四年十二月下院／當山現董亮瑞代／和文  
入間瀧岩院主亮貫書／石工 田中忠次郎



図 17 長命寺に建てられている石碑  
Fig.17 The monument in the Choumeiji temple.

(17)十二天神社(旧岩槻市・旧慈恩寺村)

【現住所：岩槻区慈恩寺 759】

以下に記述をする石碑は、慈恩寺公民館・慈恩寺

分館に向って右側，神社のわきをとおり小道に面したフェンス沿いの塚のあたりに建てられていた。

(正面) 碑文

大正拾参年六月拾貳日建設

(裏面上段) 碑文

本殿拝殿改修寄附記念連名

(裏面下段) 寄附者連名

寄附者の氏名，居住地と思われる地名，寄進内容が5段にわたって記されていた。金額については「金」「圓」を省略する。例えば，「金六拾圓」は「六拾」と略記する。総額1,248円，寄附者人数110人，平均寄附額11円，その他15人である。

本殿拝殿改修寄附記念連名

| 見出し  | 寄進内容 | 人数 | 見出し    | 寄進内容 | 人数 |
|------|------|----|--------|------|----|
| 當所   | 六拾   | 1  |        | 五    | 3  |
|      | 五拾   | 1  | 相野原    | 五    | 1  |
|      | 参拾   | 13 | 南辻     | 五    | 1  |
|      | 貳拾七  | 1  | 上野     | 拾    | 1  |
|      | 貳拾五  | 2  |        | 五    | 1  |
|      | 貳拾   | 5  | 花積     | 五    | 1  |
|      | 拾八   | 1  | 岩槻町    | 五    | 5  |
|      | 拾六   | 1  | 粕壁町    | 五    | 1  |
|      | 拾五   | 1  | 増戸     | 五    | 1  |
|      | 拾四   | 1  | 大宮早    | 五    | 1  |
|      | 拾    | 5  | 岡泉     | 五    | 1  |
|      | 八    | 6  | 白岡     | 五    | 1  |
|      | 七    | 3  | 江ヶ崎    | 五    | 1  |
|      | 六    | 6  | 藤塚     | 五    | 1  |
|      | 五    | 2  | 代山     | 拾    | 1  |
|      | 四    | 11 | 東京     | 拾五   | 1  |
|      | 貳    | 10 |        | 拾    | 2  |
| 表慈恩寺 | 拾    | 3  | 東京東龍閑早 | 拾    | 1  |
|      | 五    | 4  | 亀戸早    | 拾    | 1  |
| 裏慈恩寺 | 貳拾   | 1  | 龍泉寺    | 五    | 1  |
|      | 拾    | 1  | 入谷早    | 五    | 2  |
|      | 七    | 2  | 世話人    |      | 15 |

高貫書



図 18 十二天神社に建てられている「本殿拝殿改修寄付記念碑」

Fig.18 The monument in the Jyuuniten shrine.

(18) 宝生院(旧岩槻市・旧慈恩寺村)

【現住所：岩槻区上野 6-5-3】

本堂向かって右側の境内の隅にこの石碑は建てられている。

(正面上段) 碑文

醫眼山寶生院改築記念

(正面中段) 寄附者連名

寄附者の氏名，居住地と思われる地名，寄進内容が3段にわたって記されていた。金額は単位が円のものについて「金」「円」「也」を省略する。例えば，「金八拾円也」は「八拾」と略記する。総額1,028円50銭，寄附者人数71人，平均寄附額14円である。

| 見出し | 寄進内容    | 人数 | 見出し  | 寄進内容    | 人数 |
|-----|---------|----|------|---------|----|
|     | 八拾      | 1  |      | 五       | 9  |
|     | 六拾      | 1  |      | 四       | 1  |
|     | 五拾五     | 1  |      | 金参円五拾銭也 | 1  |
|     |         |    |      | 也       | 4  |
|     | 五拾      | 3  | 川通村  | 拾       | 1  |
|     | 四拾五     | 1  | 東京市  | 拾       | 2  |
|     | 四拾      | 1  | 蓮田町  | 拾       | 1  |
|     | 参拾五     | 1  | 岩槻町  | 五       | 1  |
|     | 参拾      | 3  | 上木崎町 | 五       | 1  |
|     | 貳拾五     | 3  | 岩槻町  | 五       | 2  |
|     | 貳拾      | 2  | 白岡駅  | 五       | 1  |
|     | 拾五      | 2  | 大宮町  | 五       | 1  |
|     | 拾貳      | 4  | 裏慈恩寺 | 五       | 1  |
|     | 拾       | 2  | 東京市  | 五       | 1  |
|     | 八       | 2  | 粕壁町  | 五       | 1  |
|     | 七       | 7  |      | 金参円五拾銭也 | 1  |
|     | 金六円五拾銭也 | 2  | 粕壁町  | 参       | 1  |
|     | 六       | 3  | 粕壁町  | 参       | 1  |
|     | 金五円五拾銭也 | 1  | 東京市  | 参       | 1  |

(正面下段) 碑文

従七位 関根良一言

(裏面) 碑文

昭和十年五月／發起人(7名) 世話人(6名) 會計(3名) 石工(1名)



図 19 宝生院に建てられている石碑

Fig.19 The monument in the Housyoin.



(19)浮谷神社(旧岩槻市・旧柏崎村)

【現住所：岩槻区浮谷 153】

この石碑は本堂右側の鳥居の付近に建てられている。

(正面上段)碑文

浮谷神社改築寄附連名

(正面下段)寄附者連名

寄附者の氏名, 居住地と思われる地名, 寄進内容が6段にわたって記されていた. 金額の単位が円のものについては「一」「金」「円」を省略する. 例えば, 「一金貳百貳拾五円」は「貳百貳拾五」と略記する. 総額 3,614 円, 寄附者人数 141 人, 平均寄付金額 26 円, その他 4 人である.



図 20 浮谷神社に建てられている石碑  
Fig.20 The monument in the Ukiya shrine.

| 見出し | 寄進内容   | 人数 | 見出し  | 寄進内容   | 人数 |
|-----|--------|----|------|--------|----|
|     | 貳百貳拾五  | 1  |      | 一金五拾銭  | 1  |
|     | 壹百四拾五  | 1  | 特別   |        |    |
|     | 壹百貳拾   | 2  | 東京   | 五拾     | 2  |
|     | 壹百拾貳   | 1  | 風渡野  | 五拾     | 1  |
|     | 八拾     | 3  | 東京   | 參拾五    | 1  |
|     | 七拾八    | 1  | 東京   | 壹百     | 3  |
|     | 七拾     | 1  | 東京   | 參拾     | 1  |
|     | 六拾七    | 1  | 東京   | 貳拾     | 2  |
|     | 六拾     | 3  | 尾ヶ崎  | 貳拾     | 1  |
|     | 五拾五    | 2  | 真福寺  | 貳拾     | 1  |
|     | 五拾     | 2  | 東京   | 拾五     | 4  |
|     | 四拾五    | 1  | 笹久保  | 拾五     | 1  |
|     | 四十貳    | 2  | 東京   | 拾五     | 1  |
|     | 四拾     | 3  | 東京   | 拾      | 2  |
|     | 參拾七    | 1  | 高曾根  | 拾      | 1  |
|     | 參拾五    | 1  | 當字   | 拾      | 2  |
|     | 參拾參    | 1  | 真福寺  | 拾      | 1  |
|     | 參拾     | 3  | 笹久保  | 拾      | 1  |
|     | 貳拾八    | 1  | 當字   | 五      | 1  |
|     | 貳拾七    | 1  | 當字   | 五      | 1  |
|     | 貳拾七    | 1  | 黒谷   | 五      | 1  |
|     | 貳拾五    | 2  | 北後前谷 | 五      | 1  |
|     | 貳拾四    | 1  | 岩槻   | 五      | 2  |
|     | 貳拾參    | 2  | 東京   | 五      | 1  |
|     | 貳拾貳    | 2  | 真福寺  | 五      | 1  |
|     | 貳拾     | 3  | 釣上   | 五      | 1  |
|     | 拾八     | 3  | 大道   | 五      | 1  |
|     | 拾七     | 1  | 笹久保  | 五      | 1  |
|     | 拾五     | 10 | 東京   | 五      | 1  |
|     | 拾參     | 1  | 岩槻   | 五      | 1  |
|     | 拾貳     | 4  | 野島方  | 參      | 1  |
|     | 拾      | 1  | 當字   | 參      | 2  |
|     | 九      | 1  | 岩槻   | 參      | 2  |
|     | 八      | 5  | 高畑   | 貳      | 1  |
|     | 七      | 2  | 東京   | 貳      | 1  |
|     | 六      | 6  | 尾ヶ崎  | 貳      | 1  |
|     | 五      | 5  | 岩槻   | 一本秤鈴壹個 | 1  |
|     | 四      | 3  |      | 一本社屋根紋 | 1  |
|     | 一金參円五拾 | 1  | 當字   | 一記念桐苗  | 1  |
|     | 銭      |    | 當字   | 一本秤鈴壹個 | 1  |
|     | 參      | 8  |      |        |    |

(裏面)碑文

埼玉縣南埼玉郡柏崎村大字浮谷ノ村社浮谷神社々掌仙波和吉ノ大正拾參甲子年拾貳月七日竣工 氏子總代(人名 3 名) 世話人(人名 10 名)

§4. おわりに

本論文では, 埼玉県さいたま市内の 19 か所(計 20 基)の石碑について, 碑文や寄附者連名など, 石碑に記されている内容をできるだけ忠実に資料として残すことを目的とした.

3-1 より, さいたま市に残る 1923 年関東地震に関する石碑は, 被害に関して記されているものだけでなく, 「再建」や「修繕」のための寄附者連名も含めて復興に関して伝えるものも多い. 震災で被災をした方々の復興への強い思いを感じることができる.

3-2 で記述した石碑は, 1923 年関東地震に関するものであると断定できる文献は見つけられなかった. 神社やお寺に直接訪ねてみたが, 神主や住職の方々も, 世代が交代しているため, 石碑の存在自体を把握していない場合も多かった.

武村・諸井(2002)を用いて, 3-2 で記述した(11)~(19)が位置する旧村における 1923 年関東地震の震度を対応させてみると, いずれも現在の気象庁震度階級で震度 5 弱以上である. よって, 神社や寺が何らかの被害を受けた可能性を有する. 特に, (16)~(18)が位置する旧新和村および(19)が位置する柏崎村では, 震度 6 弱と推定されており, 地震によって大きな被害を受けている可能性も十分に考えられる.

今後は, さいたま市に隣接する市(戸田市・蕨市・蓮田市等)をはじめ, 埼玉県内の各市町村についても, 1923 年関東地震に関する碑を網羅的に調査したい.

謝辞

東京大学地震研究所の西山昭仁氏と桑原央治氏には, 本研究の計画から調査の実施, 本論文の作成に至るまで, 丁寧にご指導頂いた. 元東京大学地震研究所の羽鳥徳太郎氏には, 水神社に建てられてい

る石碑の存在を教えて頂いた。栄東高等学校の宮崎雅芳氏と山本格氏には、石碑の碑文の解説に関して、ご指導頂いた。また、同校の宮城佑美氏には、英文のチェックをして頂いた。武村雅之氏ともう1名の査読者、および編集委員の金田平太郎氏には、本稿の完成に向けて多大なご尽力を頂いた。本研究は、サイエンス・パートナーシップ・プログラム(SPP)として、(独)科学技術振興機構よりご支援を頂いて実現に至った。記して御礼申し上げる。

本研究は、理科研究部の活動の一環としておこなった。部員の多賀谷光氏と顧問の馬場猛夫氏に、調査の一部に同行して頂いた。また、寄付金を集計する際、部員の松田昂大氏と上原悠太郎氏に手伝って頂いた。

対象地震：1923年関東地震

## 文献

- 岩槻地方史研究会, 1994, 二十五周年記念事業 岩槻大百科, 223p.
- 関東大震災五十周年朝鮮人犠牲者調査・追悼事業実行委員会, 1974, かくされていた歴史-関東大震災と埼玉の朝鮮人虐殺事件-, 310p.
- 関東大震災六十周年朝鮮人犠牲者調査追悼事業実行委員会, 1987, かくされていた歴史-関東大震災と埼玉の朝鮮人虐殺事件増補保存版-, 464p.
- 川通小学校開校百周年記念事業協賛会, 1985, 川通小学校開校百周年記念誌, 100p.
- 馬橋隆二, 1985, 大宮市史 別巻1 年表, 181pp.
- 大宮市教育委員会, 1990, 大宮の教育史調査概報(Ⅱ), 大宮の石造物(1)東部地域編, 44p.
- 大宮市教育委員会, 1991, 大宮の教育史調査概報(Ⅲ), 大宮の石造物(2)西部地域編, 39p.
- 力武常次, 1996, 地震・津波碑探訪(連載:その3), 地震ジャーナル, No.21, 63-70
- 力武常次, 1999, 地震・津波碑探訪(連載:その9), 地震ジャーナル, No.28, 75-83
- 埼玉県神社庁, 1998, 埼玉の神社 北足立・児玉・南埼玉, 1492p.
- 埼玉県北足立郡, 1925, 埼玉県北足立郡大正震災誌, 昭文堂, 467p.
- さいたま市, 2005, さいたま市史料叢書 4 寺院明細帳編 2, 204p.
- さいたま市, 2007, さいたま市史料叢書 6 寺社明細帳編・寺院明細帳編・堂庵明細帳編補遺, 383p.
- 関根龍之, 1984, 岩槻市史 金石史料編Ⅱ 近世・近代・現代史料, 932p.
- 白鳥三郎, 1981, 与野市史 近代史料編, 863p.
- 武村雅之・諸井孝文, 2002, 地質調査所データに基づく1923年関東地震の詳細震度分布 その2. 埼玉県, 日本地震工学会論文集, 第2巻, 第2号, 55-73
- 武村雅之, 2010, 神奈川県平塚市での関東大震災の跡 - 慰霊碑巡礼の記録, 歴史地震, 第25号, 91-100
- 武村雅之, 2011, 神奈川県秦野市での関東大震災の跡 - さまざまな被害の記憶, 歴史地震, 第26号, 1-13
- 武村雅之, 2012, 関東大震災を歩く 現代に生きる災害の記憶, 吉川弘文館, 328p
- 武村雅之, 2013, 神奈川県茅ヶ崎市・寒川町での関東大震災の跡 - 相模川東岸地域の被害と復興-, 歴史地震, 第28号, 1-17
- 浦和市教育委員会, 1996, 石の文化財 浦和の石造物, 103p.
- 宇佐美龍夫, 2011, 最新版 日本被害地震総覧 [416-2001], 東京大学出版会, 605p.